

# 骨粗鬆症の治療薬

監修: 中藤 真一 先生 あさひ総合病院 副院長・整形外科部長

## ● 骨粗鬆症治療薬には、大きく分けて骨吸収抑制薬と骨形成促進薬、その他の薬剤に分類される

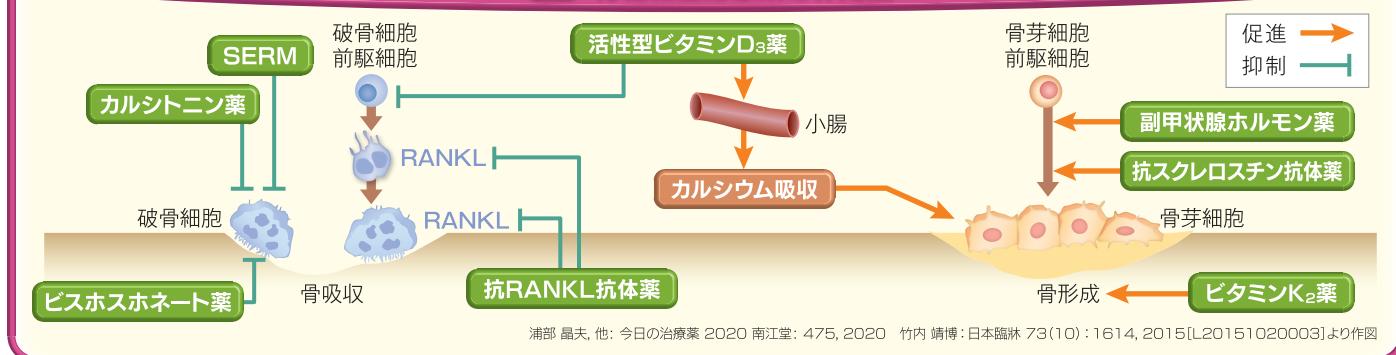
骨粗鬆症治療薬はたくさんの種類があり、主に亢進した**骨吸収の抑制**、あるいは**骨形成の促進**により骨の強度を高め、骨折を予防します。その他の薬剤に分類される活性型ビタミンD<sub>3</sub>薬などは、病態に応じて併用投与されることが多いお薬です。いずれも継続して服用する必要があり、患者さんのアドヒアラランスが重要です。特に骨折のない方では自覚症状がないため、薬物治療の必要性をきちんと説明することが骨折を防ぐ力ガギとなります。

図1 骨粗鬆症治療薬の種類

	分類	薬物名	主な作用機序
骨吸収抑制薬	ビスホスホネート薬	エチドロン酸、アレンドロン酸、リセドロン酸、ミノドロン酸、イバンドロン酸、ゾレドロン酸	破骨細胞の機能を阻害することで骨吸収を抑制し、骨代謝回転を抑制する
	SERM(サーミ)	バゼドキシフェン、ラロキシフェン	自然に近い動きで、骨密度増加・骨質改善
	抗RANKL(ランクル)抗体薬	デノスマブ	破骨細胞の分化・活性化を抑制
	カルシトニン薬	エルカトニン、サケカルシトニン	血清カルシウム低下作用、破骨細胞に作用して骨吸収を抑制
骨形成促進薬	副甲状腺ホルモン薬	テリパラチド(遺伝子組換え)、テリパラチド酢酸塩	骨形成を促進することで、骨密度増加・骨質改善
その他	活性型ビタミンD <sub>3</sub> 薬	アルファカルシドール、カルシトリオール、エルデカルシトール	腸管からのカルシウム吸収促進、腎臓でのカルシウム再吸収促進
	ビタミンK <sub>2</sub> 薬	メナテトレノン	骨形成に必要なオステオカルシンを介して骨形成を促進
	カルシウム薬	L-アスパラギン酸カルシウム水和物、リン酸水素カルシウム水和物	食事からのカルシウム摂取量が不足している場合に投与
	抗スクレロスチン抗体薬	ロモソズマブ	骨細胞から分泌されるスクレロスチンを阻害し、骨形成促進・骨吸収抑制

浦部 晶夫、他: 今日の治療薬 2020 南江堂: 475, 2020より作表

図2 骨粗鬆症治療薬の作用点



浦部 晶夫、他: 今日の治療薬 2020 南江堂: 475, 2020 竹内 靖博: 日本臨牀 73(10): 1614, 2015 [L20151020003] より作図



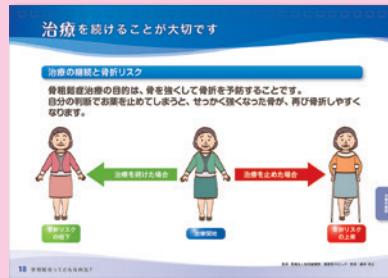
### 患者さんにはこう伝える



骨は目で見えないので、弱くなっていても自分ではわかりませんね。でも、骨粗鬆症を放っておくと、だんだん骨がもろくなって、やがて骨折してしまいます。

運動をしたり、食事に気を付けることが大切ですが、お薬も骨を強くするのに力を貸してくれます。

ただし、自分の判断で服用を途中で止めると、せっかく強くなった骨が、また骨折しやすくなってしまいます。お薬は、決められたとおりに飲み続けてくださいね。



患者さん向け説明用資料より  
(弊社ホームページよりダウンロードできます)

